

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立熊谷特別支援学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	特別支援教育の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。児童生徒の実態や学校の現状及び課題を踏まえた適切なものであり、児童生徒・保護者などの期待に十分応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から重点目標が設定されている。目指す学校像の実現に向けて学校の状況を踏まえながら重点化された適切なものとなっており、日々の教育活動の指針となっている。そのことがキャリア教育の視点に基づいた授業展開やタブレット端末の活用による授業改善などの方策につながっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学部のみならず委員会レベルまでシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムをより効果的に運営するため、特に学部間の連携を強化し、教職員や学部間での議論の機会を増やすなど更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	「アートで築こう地域の輪」などの地域交流・学校間交流など組織的・計画的な取組が増えてきている。課題の分析に基づいた、評価項目を達成するための具体的な方策が策定され、共通理解を図りながら実施されており、組織的・効果的な取組となっている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状と課題を踏まえた明確な学校経営方針を持ち、職員会議や企画委員会等で教職員へ発信し続け、課題解決に向け取り組んでいる。校長のリーダーシップが的確に発揮され、企画委員会が適切に機能しており、各学部内で組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	企画委員会を中心に評価項目の達成状況や課題を検証し、次年度の評価項目や方策等の設定に生かしている。検証結果が改善・更新に十分に生かされ、ワンランクレベルの高い目標等にチャレンジしており、PDCAのスパイラルアップが図られている。	
特記事項			